

-Index-

紙上報告② 第17回「きこえない」を知る二日展
自立活動の取り組み紹介「きこえの視覚化」
近畿教育オーディオロジー研究協議会
「令和6年度冬の学習会」案内



紙上報告②

第17回「きこえない」を知る二日展

前号に引き続き、第17回「きこえない」を知る二日展の展示内容について、掲載します。

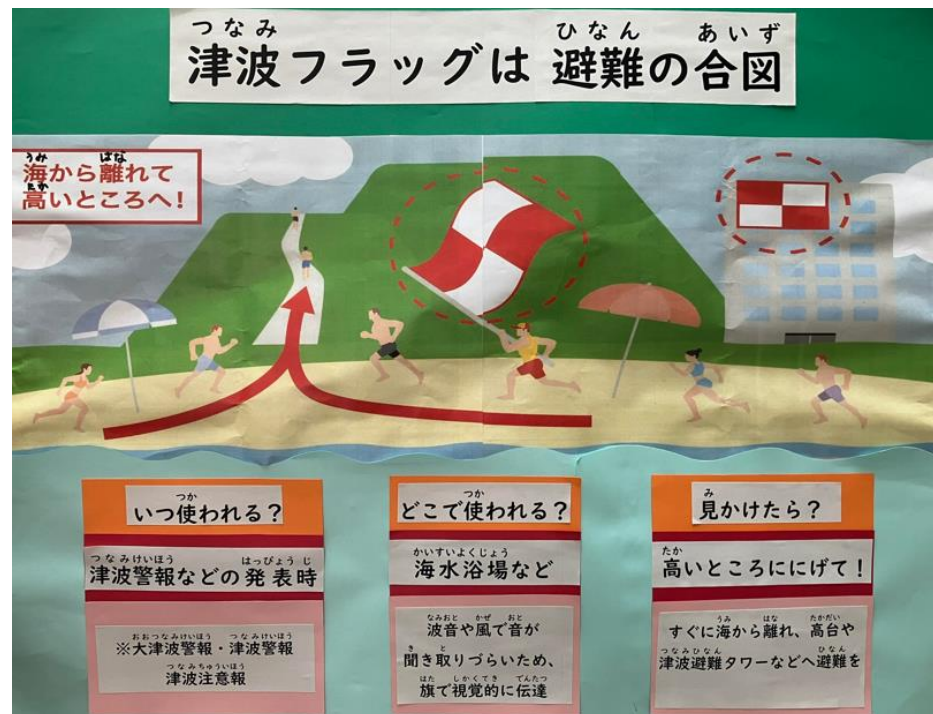
津波フラッグ

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表されたことをお知らせする旗です。



二日展では、実物大の『津波フラッグ』をお借りして展示しました。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚障がいのある方や、波音や風で音がききとりにくい遊泳中の方などにも、津波警報等の発表を知らせることができます。



(参考) 津波フラッグホームページ 気象庁 <https://www.data.jma.go.jp>

電話リレーサービス

電話リレーサービスは、聴覚や発話に困難のある人（きこえない人）と、きこえる人（聴覚障がい者等以外の人）との会話を、通話オペレータが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することにより、電話で即時双方向につながる事ができる、法律に基づいた公共インフラとしてのサービスです。



二日展では、来場者に電話リレーサービスを体験していただきました。病院や美容院、歯医者
の予約など、設定を選んだうえで、実際にその場で電話をしていただき、オペレータの方が通訳
を行いました。「電話リレーサービス」という言葉を知っている方は多くいましたが、「実際に
使ったことがない」「登録方法がわからない」という
方が多く、体験後はとても熱心にスタッフの方に質問
されていました。

電話リレーサービスの内容について
まとめたものを掲示しました！

■緊急時の連絡を手話・文字で行えます

電話リレーサービスでは110番、119番、112番への緊急通報が可能となっております。一人暮らしを始めとする学生の方にとって、このことを知ることは緊急時の連絡ができるサービスを知ることと同様です。また、電話リレーサービスの緊急通報については60秒間を超過してはなりません。所定の住所だけでなく、外出先での利用も可能で、住所の緊急通報と同様に扱われます。

また、電話リレーサービスでの緊急通報の特性として、通話時にはビデオ通話機能を使用するため、手話や文字での発話が可能です。また、通話相手はオペレータが画面に映ったお話を正確に伝えます。画面に映ったお話を正確に伝えます。

電話リレーサービスを使用した緊急通報は1日に平均1、2回の利用が可能です。通常の電話と同様に通話料がオペレータが掛断しておりますが、緊急通報に対応するオペレータはスムーズにお返事できるよう、通常の電話とは異なるペースにてお返事するようにしております。

■専用の電話リレー用電話番号を発行します

電話リレーサービスへの登録が完了すると利用者の個別の電話リレー用電話番号を発行いたします。この番号は電話リレーサービスを通して連絡がほしい場合、きこえる人の60歳未満に限定して発信し、まず通話オペレータに繋がります。その後きこえない人へ発信いたします。きこえない人は通話で発信した電話番号と同様に「応答」することで手話、または文字で通話を受けることができます。また、ご登録をいただいている利用者は通話で使用する番号に「応答」したり、お手持い通話されている学校の先生への通話先として利用していただけます。電話を発信するだけでなく通信に反応することができます。この番号は登録解除しない限り、1年、半永久的に同一の番号をご利用いただくことができます。

■料金プラン・支払方法について

電話リレーサービスを利用したお電話は通話料がかかります。通話料は選択した料金プラン内の通話時間に対する単位により算出されます。

目安としては、一ヶ月の内10分程度以上お電話をされる場合には月額料（178円）ありプランを選択いただくことを推奨しております。料金プランは12月の内好きなタイミングで変更いただくことができます。

月額料 19円	1分 15円 (税込16円)
月額料 180円	1分 5円 (税込5円)

緊急通報、フリーダイヤルは、いずれも無料

実際の通話料として適用されるのは翌月の通話料分となります。なお、きこえる人のお電話と同様に、相手先からの発信による通話、および110番、119番などの緊急通報やフリーダイヤルへの発信については無料でご利用いただけます。

支払方法はクレジットカード決済、キャリア決済 (docomo, Softbank, au)、払戻票決済からご選択いただくことができます。請求は対象月の翌月30日（土日祝の日は翌営業日）になります。料金プランと併せてご選択ください。決済に際しては請求ご請求いただくことができます。（請求、請求日まで適用されている請求方法へのご請求となります）

通話料金については、きこえる人の携帯電話の通話料と同様の単位としてご利用いただいている方の早割金として100円/100分/1分ほどです。中には緊急通話のみの通話料としてご登録いただき、その他の通常のサービスも早割金でご利用いただかれている方もいらっしゃいます。状況に合わせたサービスの選択をしていただければ幸いです。

■公共インフラとしての電話リレーサービスが令和3年より開始しました！

インターネット 電話通話

ご利用方法：スマートフォン、タブレットやパソコンがおすすめです。通話相手はオペレータが画面に映ったお話を正確に伝えます。画面に映ったお話を正確に伝えます。

電話リレーサービスとは、聴覚に障がいのある人（以下、きこえない人）と、きこえる人（聴覚障害者以外の人）との会話を通話オペレータが「手話」または「文字」と「音声」を通話することにより、電話や通話相手方向に伝わることでサービスです。24時間・365日、双方向での利用、緊急通報機能への適用も可能です。

サービスを使用するにはスマートフォン、タブレットやパソコンが必要です。「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律」に基づく公共インフラとしてのサービスであり、聴覚障害者の認定を受けた「聴覚性日本人聴覚電話リレーサービス」が提供されています。

(参考) 電話リレーサービス (公式ウェブサイト) <https://www.nfrs.or.jp/>

自立活動の取り組み紹介 「きこえの視覚化」

本校では、聴覚に障がいのある幼児児童生徒が、たくましく生きる力と豊かな感性と言語力をもって社会的自立をめざす教育を進めています。そのため、自立活動では、乳幼児教育における保護者支援の段階から、コミュニケーション能力の育成と障がい認識を促す教育を進めています。その方策として、系統だった学習（聴覚活用、音声日本語、書記日本語、手話指文字）を行い、ゆたかな言語力と社会参加への意欲を育てています。

今年度、中学部1年生を対象にした聴覚学習では「きこえの視覚化」をテーマに授業を展開しました。自分のきこえについて、相手に伝えるための方法のひとつとして、イラストや文字で伝える方法について学びました。

学習を進めるにあたって、本校で勤務する聴覚に障がいのある教員が作成した「きこえの視覚化」の例を提示しました。

①

きこえる人の場合
みんなおはよう！
今日はいい天気ですね
こんな日はお出かけを
したくなりますね
一緒に出かけませんか？

僕の場合 (きこえない人)
みんのお●よ▲!
今日はー天@で●ね
こA日はあ出 さえを
したら●●考●
ー出カ>まEんか？

②

「現代音楽」
「クラシック音楽」
「音楽的な音経験」
「家で静か集まってる」

①を記入した教員は、平均聴力レベルが100dB程度で、両耳に補聴器を装着しています。本校では手話のある環境で、コミュニケーションを図っていますが、手話がない環境のときには、聴覚を活用しながら話者の口形を見て、会話の内容を理解されているとことです。頭の中でパズルのようにことばを組み合わせながらきくようなイメージであることを、イラストや文字で伝えています。

二日展アンケートより (一部抜粋)

- ・VUEVOの機能を実際に見ることができて良かったです。とても正確で驚きました。
- ・電話リレーサービスは、名前ぐらいしか知らなかったのですが、今回体験することができ、電話の選択肢もあることがわかって良かったです。
- ・いろいろな知らない情報を知ることができて、良かったです。
- ・いろいろな情報が集まり、サービスを知れて勉強になりました。
- ・毎年、どんな内容かなと楽しみにしています。カフェに行ってみたくて思いました。
- ・きこえる人と、きこえない人との関係性や距離感が近づいていくのが、実感できました。

